

## 北杜市立中学校再編整備検討委員会（第4回会議） 会議録

1. 会議名：北杜市立中学校再編整備検討委員会（第4回会議）
2. 日 時：令和5年2月17日（金）午後7時00分～
3. 場 所：北杜市役所 北館3階 大会議室
4. 出席者：  
（委 員）森本貴代美・名取政義・清水好美・牛田昭一・桜井彰一・進藤幸夫・  
小池雅美・保坂一・白倉美奈子・粟澤正子・日向五十鈴・輿水清司  
（事務局）加藤教育部長・平井参事・鷹左右教育総務課長・川端下政策推進課長・  
進藤教育指導監・仲山行政改革担当・浅川総務担当・大久保総務担当
5. 議事  
（1）今年度の振り返り  
（2）検討委員会における基本的な方向性について  
（3）その他
6. 公開・非公開の別：公開
7. 傍聴人の数：9人

## 議 題

### (1) 今年度の振り返り

(委員長) 事務局から説明がありました。ご質問等ありますでしょうか。

(委 員) ICT が全面的に出てくるのはよいのでしょうか。子ども達への情操教育の方が重要なのではないかと思います。ICT で改善できるところは改善していけばよいと思いますが、ICT 一辺倒になるのは違うと思っています。

(委員長) 現在、ギガスクールが始まり、ICT、特にタブレット端末を活用した学習が進んでいます。そのような中で、情操教育を改めて重視していく必要があるというご意見かと思っています。この後の、検討でも深めていければと思います。

### (2) 検討委員会における基本的な方向性について

(委員長) 次の議題ですが、事務局から提案はありますでしょうか。

(事務局) 事務局からの提案はありません。

(委員長) それでは、基本的な方向性について、これまでの内容を踏まえる中で、委員の皆さんからご意見をお聞きしたいと思います。全員のご意見をお聞きしたいため、順番にお願いします。

(委 員) 水平統合が良いと考えています。  
多様な考えとか活動の広がりという面において状況を良くしていくには、水平統合を進めていくのが一番現実的かなと考えております。そうなった場合、複数の教員、教科の教員によって、生徒への理解と指導力を深めていくこと、きめ細かな指導をすることを進めていただけたらと思っています。複数の教員がいることによって、先生方の学び合う機会も増えると思いますし、それによって、生徒個人への指導にもつながるという点で利点が多いなというふうに思っています。学級数が増えることによって、人間関係で難しいという場合に、学校を変えずにストレスの改善やトラブル回避にもつながるというところもよいと思っています。遠方からの通学になるので、通学へ配慮するとともに、交流の機会を増やして、地域性を多彩なものに発展させていただきたいです。  
今後、この会議が終わった後に、保護者の方々や地域の方々の意見を吸い上げるプロセスを十分に踏んでいただきたいと思います。

(委 員) 私も水平統合が良いと思います。  
学校の規模は、この間の資料だと、3校にしてもすぐに2校にしなきゃい

けないところがあると思います。通学の問題等々を考えると、やっぱり子ども、親の負担も増えますし、2校ぐらいでうまく調整できればと思います。あと、部活の問題は非常に大きいものがあると思います。クラスが増えたり、人数が増えたりすると、やっぱりやりやすい部分もあると思います。

(委員) 前の2人と同じような意見です。  
そういった中で、垂直統合と比較すると、クラス替えの無い状態で、進学していくのは下手すると保育園・幼稚園、小学校、中学校とシャッフルすることがないわけで、人間関係の形成につまずく場合もあることを考えると、クラス替えのできない規模での統合というのは、メリットよりもデメリットの方が大きいのではないかと、これまで検討する中で感じました。また、私の周りの保護者の意見を聞くと、複数学級に加えて、地域移行はありますがある程度の生徒数がある状態での部活動についての関心が高いです。

学校の数は2校くらいがいいと思います。通学の課題は、解決する手立てはあるのではと思います。

そして、この検討のことを、保護者の方にどのように共有していくかものすごく気になります。保護者が集まる機会があれば、そういった機会にきちんと説明していただきたいと思います。その際、もう決まっているということではなく、途中経過で伝えていくことで、味方になってもらえる、応援してもらえる状況をつくることにも取り組んでいただきたいと思います。必要であれば、私たちPTA役員も一緒に説明するといった形の協力もできると思います。子ども達のために建設的な話し合いができるようにしていきたいと思います。

(事務局) 保護者への説明会は、本検討委員会で、基本的な方向性が出されたところで、各地区を回りまして、児童・生徒、保護者、地域の方への説明を行っていく予定です。

(委員長) その際は、基本的な方向性だけではなくて、この場に出たメリット、デメリット等を含めて説明する中で、様々なご意見をうかがう場を持たりたいと思います。

(委員) 私は水平統合、2校が良いと思います。  
ここで進めないと、前に進みません。部活で市外に行く人もいますが、統合すればそんなことしなくてもほとんどの問題は解決すると思います。場所については、大激論があると思いますが、生徒さんとか保護者の話を聞くと、学校が小さすぎる、統合を早く決めてほしいということを私は言われております。方向性だけは、はっきり言っていただいた方がよいと思い

ます。

(委員) いじめの観点からみると、垂直統合の場合は、いつでもいじめっ子と一緒にいなければならなくなります。水平統合の場合は、クラス替えをすれば、そういうことは防げると思います。

おらんとこの町から学校がなくなるのは嫌だという声も出てくると思いますが、もうこの話は十年近くしているので、地域にも話を上手におろしていただいて、理解を得られるように工夫して行ってほしいです。

(委員) 私は、昨年度、審議会に参加していました。その時から、水平統合、垂直統合の両方の意見があるということは、身にしみて感じています。今年度は、審議会に出ていた課題をどうすれば解決できるのかという議論を深められており、4回でしたが、とても意味がある会だったと思っています。この会は決める会ではなく、検討する会なので、来年度の説明会では、こういう意見が出ているというような形で、地域や学校に下ろしていくのが筋かと思っています。

私は、もし地域の皆さんが垂直統合を望むようであれば、そういう学校をモデル的に作ることを考えてもいいのではと思ったりします。ただ、それを1つのクラスしか無い地域でやったとしても、本当に保育園から中学卒業までずっと同じメンバーが続くことになるので、それはあまり皆さん望まないと思いますし、私もそういう形は問題があると思います。そうすると、垂直統合は複数の中学校が統合して、小学校も一緒にというパターンになりますが、そうすると小学校がなくなる地域が出てきます。それだと、地域に学校を残したいという多くの皆さんの思いは報われなくなってしまいます。

私は、いろいろ検討した中で、今の小さな規模の中学校が沢山あるということに対しての課題を強く感じています。前回、前々回と発言させていただきましたが、それは現場として本当に率直な思いです。どんどん規模が小さくなり、子ども達が生活しづらくなることを危惧しています。

それから、学校がたくさんあることで北杜市の教育予算が分散していることは否めません。毎年、市から予算を頂きますが、毎年減っており、少ない予算でやっていくことを余儀なくされている状況があります。気持ちだけではどうにもならない部分もあって、学校の数を少なくすることで、改善できることもあるのかなと思っています。

(委員) 私は、学校の実態を通してお話したいと思います。

武川小学校には百数十名の児童がいます。各クラス 20 名弱の小規模な学校です。6年生の卒業後の動向を見ると、30%くらいが地元の中学校以外の中学校に進学しています。ここ3年くらい、割合は増加傾向です。その内訳は、私立に5、公立に2くらいです。私立に行く理由を聞くと多人数

学級での学習環境に身をおきたい、刺激を受けたいという答えでした。公立に行く理由を聞くと、より規模の大きい中学校で自分の望む部活をしたいという答えがありました。これがまあ、地域の子どもの声の実態ということで、これまでの委員の皆さんがというような方向性に持って行かないと厳しい状況があります。

(委員) 私は、思春期を迎える中学生にとっては、人間関係の広がりとか、切磋琢磨できる環境というのがとても大切だと考えています。ですから、水平統合が良いのではないかと思います。

(委員) 武川出身で私の年代の方はわかると思いますが、昔は武川小の隣に体育館があって、その隣に中学がありました。当時はグラウンドがくっついていて、垂直統合みたいな感じでした。運動会も小中一緒でした。なので、垂直統合もいいと思っていましたが、これまでの検討を聞くと小中が離れてるとか、免許の問題とかがあって、交流はしにくいということを考えると、ちょっと現実的じゃないと思うようになりました。今は、水平統合、2校が良いと思っています。ただ、2校にするのであれば、同じ規模であってほしいと思っています。

(委員) 私の今いる保育園は、この4月に東西が統合しました。一緒になって、やっぱり子ども達は刺激をもらっています。人数が多くなったので、気の合うお友達を探して、一緒に遊ぶようになりました。気が合わないお友達とは、距離を置くみたいなことができるようになりました。このような姿を見ていると、水平統合が望ましいように感じます。

(委員) 私も保育の現場にいて、昔と今とでは子ども達も保護者も変わってきていると感じます。私は、この再編の問題を考える時には、現場の中学校の先生方が一番現実をわかっていて、問題点の理解や望ましい姿のイメージもあると思います。中学校の先生に現場の話を聞いて、本当に子どもにとって望ましい中学校を作ってってもらえたらいいと思います。私個人の意見としては、大勢の集団の中の方が、子どもの色々な可能性を伸ばせると思います。また、保護者もPTAの数が多くなれば、いろんな方とコミュニケーションが取れて、広がり生まれると思います。

(委員長) 一通り全員の委員の皆さんにご意見を伺いました。ご意見としては、水平統合が望ましいというお考えが多く出されました。水平統合について、先ほどは触れられなかったこと等あれば、ご意見お願いしたいと思いますがいかがでしょうか。垂直統合の良さもこれまで確認してきたわけですが、こちらについてはいかがでしょうか。

(委員) 垂直統合の良さは全く否定ができません。私の学校では、小学校と一緒に授業をやる取り組みを進めており、非常に効果がありました。なので、垂直統合の学校のいいところも感じているところです。

ただ実際に、北杜市でそのような学校を現実を作ることを考えると、前回お話した通り、イベント的な対応はできる一方で、日常的な教員の乗り入れ等は難しいし、小学生と中学生が全く違う時間軸で生活をしている、体の大きさも、興味関心も違う等の難しさもあります。先進的に導入している学校もあるので、できないことはないはずですが、現実的には現場の負担はかなり大きいと思っています。

効果があることはわかっているので、垂直統合ができなかったとしても、小中の連携を強めることはもちろん可能で、せっかく垂直統合を提案していただいたので、良いところを取り入れながら進めるという発想もあるのかなというふうに思います。

(委員) 今の話、その通りと思いました。

地域との連携はもちろんですし、小学校同士や小中の交流・連携を上手に取り入れていただきたいと感じています。

PTAの役員になると地域の行事に出向いていくことがあり、そういった中で、地域の方が子ども達のためにこんな取り組みをされているということを知ることができるということがあります。私は、この場に参加することで、行政が一生懸命検討を重ねているということを知りました。

学校に関わる皆さんがお互いに、気持ちよく色々なことに取り組めるような環境づくりを是非進めていただきたいと思っています。

(委員長) ありがとうございます。これまでの委員の皆さんのご意見を総合して考えると、学校を一定の規模にするための水平統合することが望ましいという意見が大半だったわけですが、垂直統合の良さも取り込んでいけると良いという考え方が出てきています。

今後ですね、各学校の関係者や地域への説明会を進めることになるわけですが、地域によっては垂直統合を望む声が出てくると考えています。そのようなご意見等も受け止めながら最終的な結論を考えていくことを前提としながら、水平統合を基本的な方向性としていきたいと思っています。垂直を排除するとか、組み合わせはダメとか、そういうことではなくて、水平統合を1つの方向性として説明する中で、様々なご意見を伺って行くという流れで考えていきたいと思っています。確認ですが、北杜市の中学校を一定の規模にするために水平統合することが望ましいということをお本検討委員会の基本的な方向性としていきたいと考えますが、委員の皆さま宜しいでしょうか。

続いて、一定の規模ということで、その規模がどの程度が望ましいかとい

うことがあります。これは校数とも関わるわけですが、改めてここでご意見があれば伺いたいと思いますがどうでしょうか。

(委員) 地域で説明をして行く時に、最初から決まっていたみたいに使われてしまうと、かえって進まなくなってしまう危惧があります。私たちの検討委員会は決める機関ではないので、そういう方向性の意見が多かったということではいけないので、その辺をうまく伝えていく必要があると思います。それから、1つ前の規模のところですが、旧町村にこだわらない分け方をすべきだと思います。これまでも統合の話が出ると、自分の所の学校が残れば異論なく、なくなる場合は反対ということがあって、うまくいかなくなるということがあったと思います。北杜市は合併してから20年ぐらい経っているので、旧町村に小学校が残るのであれば、中学校はそういったものに囚われず、北杜市全体の中で考えていくことで、地域のエゴから離れていくことが重要だと思います。

(委員) その通りだと思いました。  
以前の検討の時に、各町村での説明会に参加しました。明野と須玉の統合には明野の保護者も須玉の保護者も賛成でしたが、いざどっちの学校に行くかの議論になると、明野であれば須玉の保護者は反対、須玉であれば明野の保護者は反対という傾向が強くありました。  
なので、今回は北杜市全体の中でどうするかを通学の距離等で考えられるといいと思います。甲陵中学校は通学距離が長い生徒さんも通っていますが、通学の様子はどうなのでしょう。

(委員) 市内の子ども達に関しては歩いてこれる子を除いて保護者の送り迎えです。電車を使える子は駅から歩いてきます。甲陵中学校は、スクールバスがない中で希望した生徒が来る学校ですので、保護者の責任で通っていたという状況です。

(委員) 学区については、この前の地図での分布を見ながら場所的に一番いい所を2校選ばばいいと思います。若い人たちが越してくるようなところは、配慮した方がよいと思います。学校の位置はすごくもめると思います。  
2校としておいて、先ほどの話のように、私の所は垂直でいいやっというところがあれば、モデル校として3校になったっていいと思います。ただ、同じ学区に小学校と中学校がないと垂直にならないので、古い学校のままでは実現しにくいかもしれません。  
なので、やっぱり新しい学校にさせていただいて、通うのはどっちでもいいことにすればいいと思います。校区を決めなくて好きな方に行く、それはダメですかね。

- (委員長) 統合した場合は、通学方法が問題になりますので、選択制にした場合は、スクールバスが困るかもしれませんが、1つの考え方ではあると思いました。ありがとうございます。
- 前回の資料の中で、10年後、1校であれば学級数は5～6学級、2校であれば単純に半々に別れた時は3～4学級、3校であれば2学級も存在してくるということがありました。望ましい学級数についてご意見どうでしょうか。
- (委員) 1学年100人。そうすると本来3クラスですが、はぐくみプランが適用されて4クラスになります。
- (委員長) 前回のシミュレーションをみると、10年後の1学年の生徒数は約200人ということなので、1学年100人規模ということになると2校が想定されると思います。
- (委員) 2校か3校かで迷っています。この間の雪は、こっちの方じゃ雪かきは必要ないけど、こっちじゃ家から出られないよという違いも出てきます。なので、地域の環境も考慮した中で検討してもらえばと思います。
- (委員) 今の有事の際という観点では、コロナ陽性で自宅待機、自宅療養されている児童・生徒がある程度います。元気なんだけど、濃厚接触者として学校に行くことができない場合もあります。そういった中では、一人一台端末でICTを利用して教室の授業をつないで授業と一緒に参加してもらおうという取り組みをしている学校もあります。
- その辺りはICTの活用で、対応ができるようになっていくんじゃないかなということを感じます。
- (委員長) 審議会では、水平統合の学校規模については1～2校が望ましいとされてきました。今年度、皆さんの意見を聞くと1校ではなかなか厳しいのではないかというご意見が多かったと思います。そのため、2校、または2校だけに限らず3校ということもあり得るのではないかというご意見になっていると感じています。
- クラス替えができる、複数の学校から集まって子ども達の間関係が広がり、部活動もある程度成立するというような学校規模を目指すという中では、学級数までなかなか言えないので、学校2～3校という感覚でよいでしょうか。
- (委員) 学級数については、資料の2学級になった場合の先生方の配置例をみると、音楽とか美術が複数校兼任するとか非常勤という扱いになってしまいます。3校にした場合は、令和16年度に2学級になってしまうという予



想になっているので、学校数は2校にして、できるだけ3学級を維持するのが理想です。

- (委員長) 他にご意見いかがでしょうか。  
そうしましたら、先程の水平統合ということに加えて、この検討委員会においては、総合的に考えた時にその学校規模は学年3～4学級程度が望ましいというような方向性でどうでしょうか。  
このことについては、最終的な結論ということではなくて、これに至った経緯を説明していく中で、このことを土台として多くの人の意見をさらに聞いていきたいと思えます。よろしいですかね。  
何か、補足でご意見ある方いらっしゃいますか。
- (委員) 来年度、保護者に説明していただくのはいつ頃になりますか。  
年度始まってすぐにPTA総会があるので、そこであればほぼ全員の保護者が参加対象となるいい機会と思っているのですが、いかがでしょうか。
- (委員長) 来年度早い段階で、保護者が集まりやすい場所をうまく使って説明すべきということかと思えます。私が見える範囲ですが、保護者のPTA総会は非常にタイトなスケジュールで、各学校はめいっばいの中で実施していますので、その場でこれだけのことを説明する時間が取れるかということは心配です。現場の校長先生方とも相談する中で、よい方法を考えなければと思えますが、先生方どうですか。
- (委員) その日は、授業参観、PTA総会、学年PTAというような形になっていて、時間的にはかなりハードです。初めてのPTA総会ということになり、議事も結構多いので、別日とした方がゆとりを持ってできると思えます。人を集めるためには、芸術鑑賞教室とか、道徳の公開授業等の行事と抱き合わせて実施するという方法もあると思えます。
- (委員長) そんな状況だけ知っていただいて、説明会については、これから具体的に検討していくということでもよろしいですかね。
- (委員) 会議でいただいた資料はコピーして、地域と話し合いする時に使ってもいい資料でしょうか。
- (事務局) 資料についてはホームページでも公開しております。ご活用いただいて宜しいかと思えます。
- (委員) 教員の適正配置ですが、統廃合で苦慮することがあれば、国の方にも言っただくといっていました。

- (委員長) 確かに、全国の視点で見ると少子化で学級数が減り、教員の余裕ができるので、加配等を行い有効活用する政策が進められています。一方で、教員の成り手がいないという課題も出てきています。そういう意味でも、教育環境を整えることが厳しくなっているということをいろんな機会を通じて国・県に上げていきたいと思っています。
- (委員) シミュレーションは令和 16 年になっていますが、うまくいけば、5～6 年後には新しい学校ができると思います。なので、もう少し前の開校のタイミングのシミュレーションもほしいと思います。そうすれば関心も増えてくるのではないのでしょうか。
- (委員長) 具体的なスケジュールを示すことができれば、現実的に捉えてもらえるということかと思います。ありがとうございます。